



野崎慎

「 幸運ぶ 」

44.4 × 35.4cm 絹本彩色

牡丹は花の王、蝶は長寿や再生などの意味を持ち、古来より吉祥のモチーフとして親しまれてきました。

蝶が舞うように幸福が果てしなく広がっていきますようにとの想いを込めて描きました。



寺内誠

「 feve 」

6F (41.0×31.8cm) パネル、綿布、油彩、アクリル

パリの骨董市で見つけたとても小さな陶器製の人形。

それは、フランスの1月の風習で食べられるガレット・デ・ロワというパイ菓子の中に忍ばせるもので、

切り分けた時に入っていた人に幸運が訪れると言われる、フェーブ (feve) というラッキーアイテムでした。

咲き誇る桜とその中に見えるフェーブを、新たな門出と幸運のシンボルとして描いた作品です。



大島真由美

「 福祿寿 」

6F (41.0×31.8cm) 紙、岩絵具、アクリル、箔

この作品をご覧になり、

コメントに目を落としてくださっているあなたへ。

この作品は 福祿寿 というタイトルです。

よく稼ぎ、健康で長く生き、幸福でありますように。という願いを込めて、幸福呼び寄せる図柄です。

今は冬、寒いですね。暖かくしていますか。マスクも忘れずに。

中華街に行くと、吉祥の図柄がいたるところにありますね。願う、というより、あらかじめ寿ぐ事で、良いことを呼び入れている様に見えます。

この作品もそれにならって、福祿寿それぞれを寿いでいます。

あなたがよく稼ぎ、健康で長く生き、幸せでありますように。



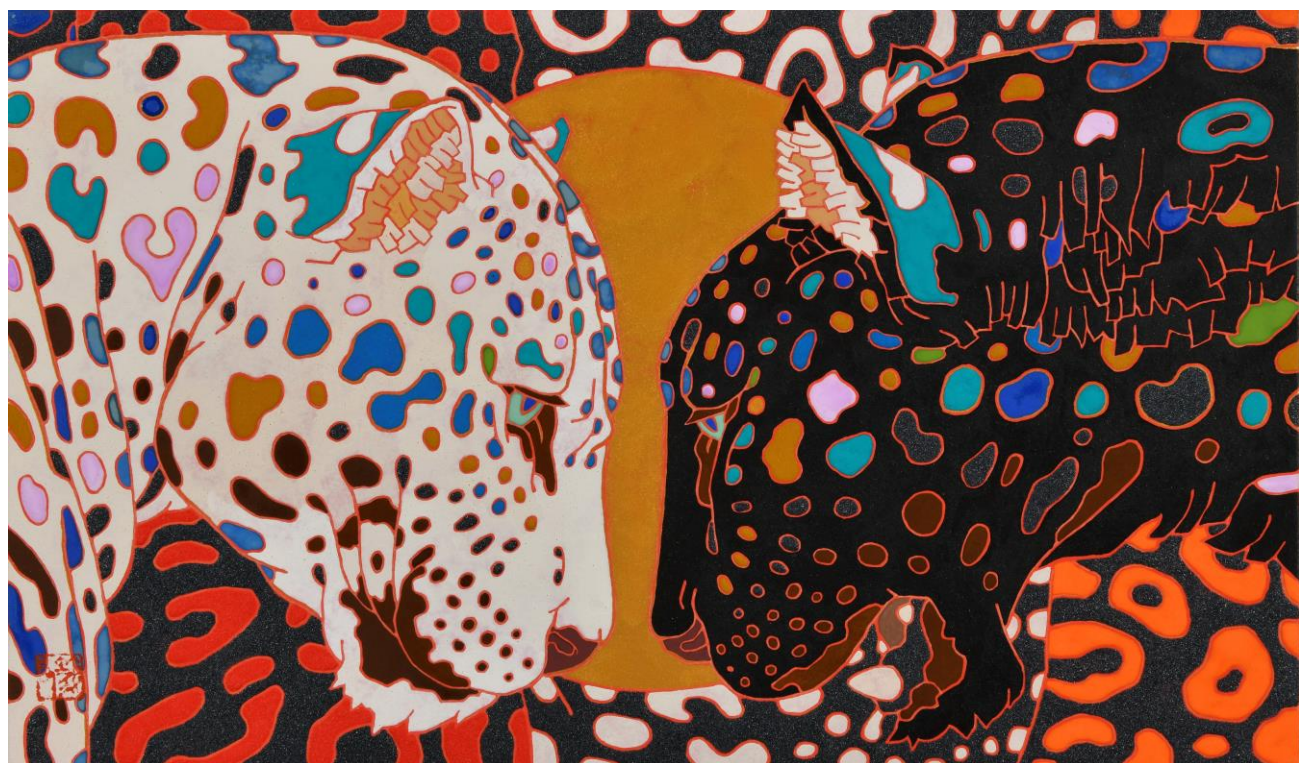
神戸智行

「 未来へつなぐ 」

40.0cm円形 紙本彩色

私達の国では古来より、
縁起の良いものとして伝わっているものがたくさんあります。
縁起が良いとされるものも、その成り立ちを考えると、
先人たちは、その一つ一つに願いや感謝の想いを込めている事に気付かされます。

現代を生きる私たちは、
当たり前のようにこの時代を生きていますが、
それが困難な時代に生きていた先人たちは、
生きるという事への感謝の念を形に託して祝い、互いに思い合い、
喜び合っていました。そのような先人たちの思いに気付かされ、改めて生きるという事の素
晴らしさを表現しようと試みました。



鵜飼義丈

「 出会う。」

6M (24.2×41.0cm) 紙本彩色

伝えたい相手を見つける
受け取る相手を見つける
離れていても側にいても
ひとりでも大勢でも
これほどめでたいことはない



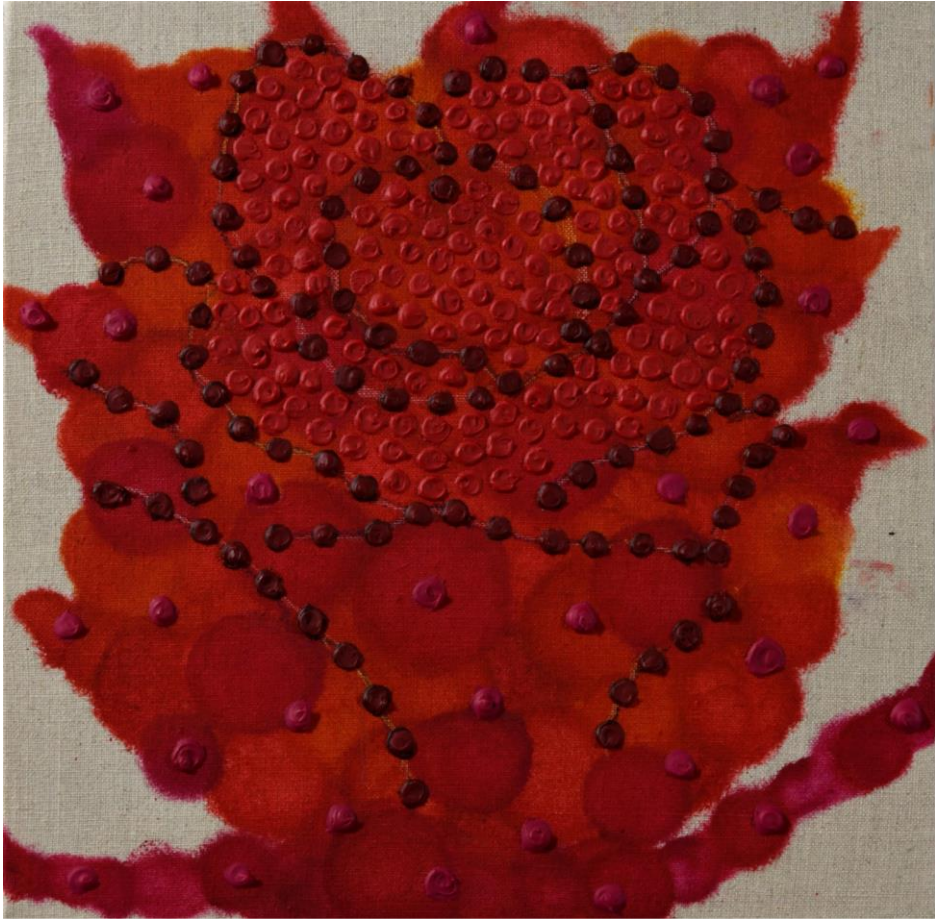
財田翔悟

「 マクロフジ (子) 」

33.4×22.0cm パネル、綿布、岩絵具、ピグメント、箔

うちで飼っているおめでたい性格の黒猫にモコモコの被り物を無理矢理被せた時に、山みたいだな、と感じたところから制作しました。

富士山と来年の干支である子(ねずみ)を併せて、めでたさを表現しています。



阿部ふみ

「バラ 溢れる」

4S (33.3×33.3cm) 油彩、キャンバス

お祝いの赤いバラの花を贈ります。
幾重にも花びらが集まり、凛と美しく咲き誇る花の姿に、これまでの日々を重ねました。
今あることを共に祝福できることをとても光栄に思います。



狩野宏明

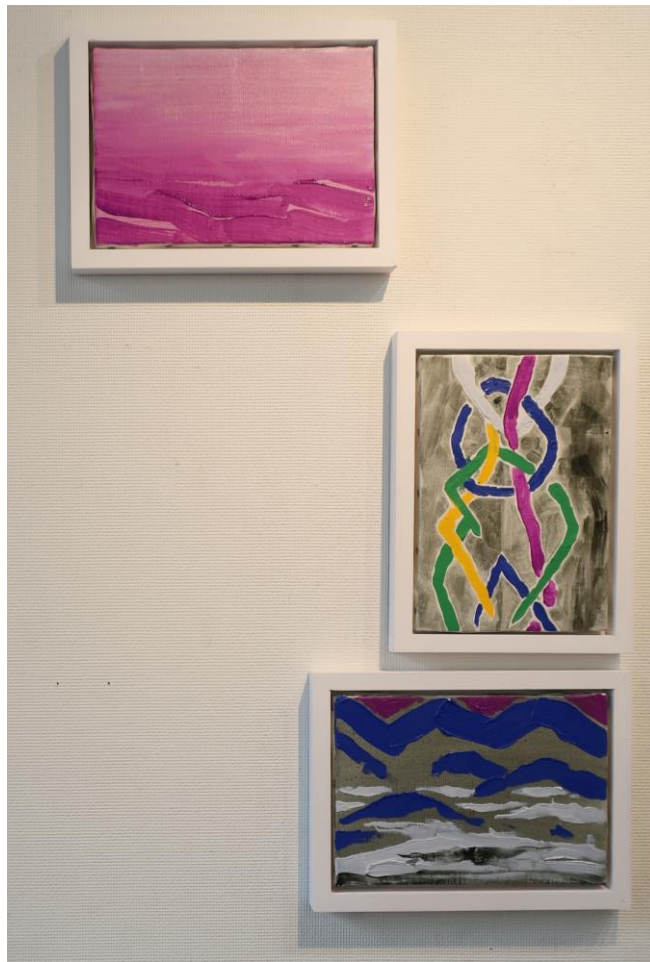
「ポリュムニアの出囃子」

33.3×33.3cm

パネル、白亜地、油彩

ギリシャ神話で学芸を司る女神ムーサ（ミューズ）の一人であるポリュムニアを主なモチーフとして、芸術を通して築かれる関係性や歴史を祝福することをテーマに制作しました。

ポリュムニアの名前は「多くの歌」を意味し、讃歌や雄弁をはじめ、農業や幾何学、歴史などを司る女神とされ、優れた作品を制作した作家を祝福されています。ポリュムニアの像を現代のモチーフと組み合わせて中央に描き、装飾された室内に縁起物や芸術と関わりを持たせたモチーフを配置しました。



山内隆

「 巡礼・日の出・予感 」

SM (22.7×15.8cm) 3枚 油彩、キャンバス

巡礼路の出発時間はとても早く
夜明け前の暗い時間に身支度を整える
僕はその長い道中でいくつもの暁闇や日の出の中を歩いてきた

日々の始まりを日の出とともに迎えることや
暗がりかほの明るくなる大地そのものに身を置くことで
精神は光で満たされているのか、それとも無になっていくのか
そこから何を感じられるのか、なにが始まるのか
日が昇る都度、毎日新鮮な感覚が呼び起こされたように
芸術とそれを体現する場所が
そういった予感めいたものを含んでいる空間であってほしい

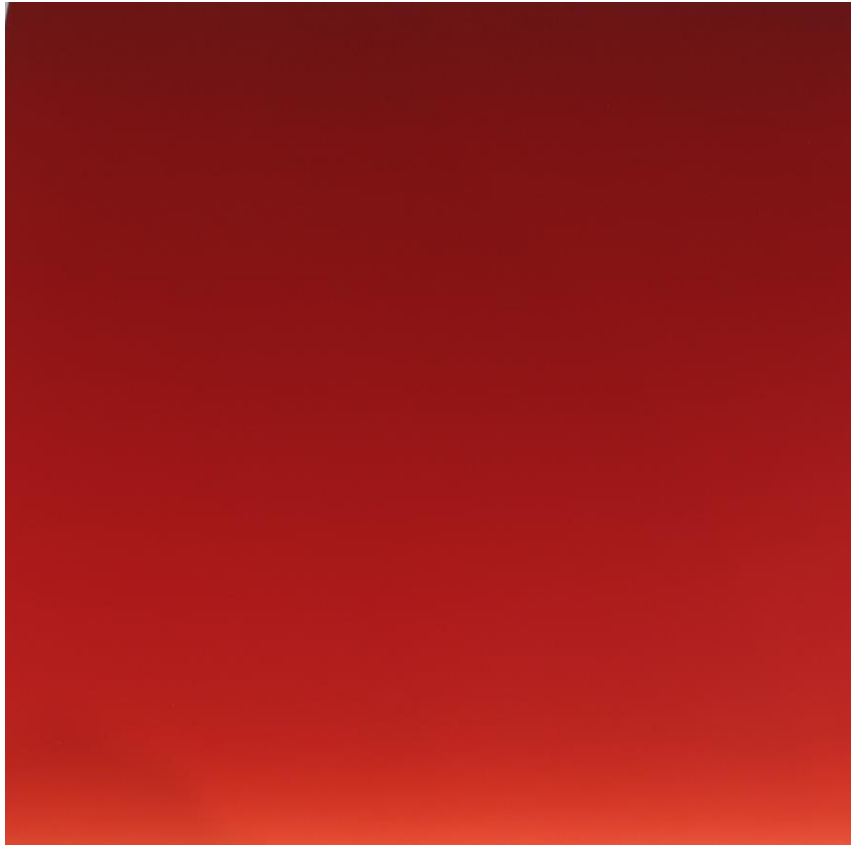


ナカムラ徹

「一意の目線意（心の音）」

2S (24.0×24.0cm)
ミクストメディア

五点で表現された良寛の書、意の字。50年と五点、心の音の波紋と広がり。
この世界に生きている人々への軌跡と躍動を祈って。



榎本裕一

「 無題（ダリア） 」

22.0 × 22.0cm

ウレタン塗料、鉄、FPR

白か紅の色の作品を出品したいと考えました。
作品のモチーフはダリアです。
花を贈る気持ちで展示をさせていただきました。



佐々木怜央

「 十二支 」

12.0×12.0×15.0cm

ガラス

子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の十二種を一つの生物に合成しました。

歯は鼠、大腿は牛、前足は虎、耳は兎、首は龍、尾は蛇、立髪は馬、角は羊、手は猿、翼は鶏、顔は犬、背中は猪と、それぞれの特徴を表しています。

過去・現在・未来と、毎年々々一年が終わって新しい年が続いく十二支の様に未来永劫の発展を願って製作しました。



漆原夏樹

「 幸盛図 」

6F (41.0×31.8cm)
紙本彩色

パンダが見つめ掴もうとする先にいるのは幸福の象徴たる蝙蝠が七頭、それらが八の字を描き循環する様は永久機関の如く福を呼び続ける様を表象しています。
自分の幸福とは何かを見つめ、手に入れようともがくことこそが得難い幸せな状態なのではないかと思ひます。



斎正機

「 白いヒゲ 」

SM (22.7×15.8cm)

紙、パステル



品川亮

「 雪椿 」

37.5 × 25.0cm

紙本彩色

砂子を雪に見立てて、赤い雪椿の花を描きました。



賀門利誓

「 松図 」

8F (38.0×45.5cm)

染料、布、木製パネル